

TSUDOI

スタンダードプラン 月次分析レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

TSUDOIで集計・分析する、複数の有名格付け機関によるスコア評価

◆『狙い目：中堅銘柄』発掘ガイド

仮想通貨業界全体のトレンド銘柄分析

◆『大穴：新規銘柄』発掘ガイド

VC出資先分析に基づく、注目新規銘柄情報、CMC新規リスト銘柄分析

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。



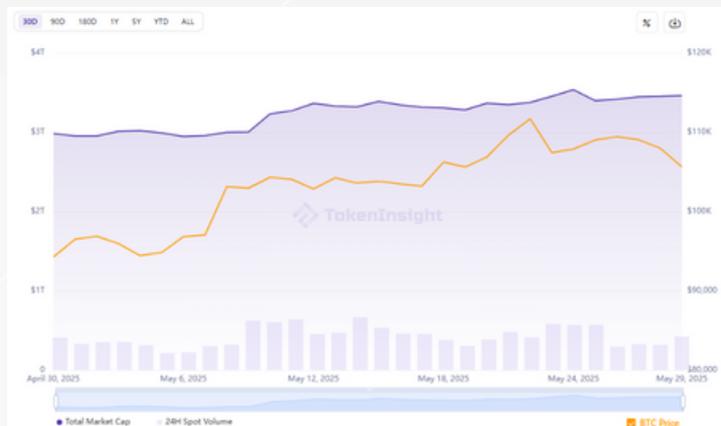
有料
レポート

2025年4月末～2025年5月末 仮想通貨業界市場動向

◆ 業界全体の時価総額 推移

2025年5月1日～5月29日の仮想通貨市場は、ビットコインが月後半で調整を迎えつつも全体では堅調な推移を維持しました。時価総額は約2.98兆USD（約424兆円）から約3.46兆USD（約492兆円）へと **+16.1%拡大**しました。

基軸通貨であるビットコイン（BTC）の価格は、5月1日の96,497.57ドルから5月29日の105,623.53ドルまで上昇し、**+9.5%の伸び**を見せました。右図Coinglassの月次ヒートマップによれば、2025年5月の月間変動率は+12.26%となっており、4月（+14.08%）に続き、3月までの調整（2月の-17.39%、3月の-2.3%）を着実に取り戻す形で、安定した回復基調が継続しています。



※TokenInsight調べ

Bitcoin Monthly returns

Time	January	February	March	April	May	June	July	August	September	October	November	December
2025	+9.29%	-17.39%	-2.3%	+14.08%	+12.26%							
2024	+0.62%	+43.55%	+16.81%	-14.76%	+11.07%	-6.96%	+2.95%	-8.6%	+7.29%	-10.76%	+37.29%	-2.85%
2023	+39.63%	+0.03%	+22.96%	+2.81%	-6.98%	+11.98%	-4.02%	-11.29%	+3.91%	+28.52%	+8.81%	+12.18%
2022	-14.68%	+12.21%	+5.39%	-17.3%	-15.4%	-37.28%	+16.8%	-13.88%	-3.12%	+5.56%	+14.23%	-3.99%
2021	+14.51%	+36.78%	+29.84%	-1.98%	-35.31%	-5.95%	+18.19%	+13.8%	-7.03%	+39.93%	-7.11%	-18.9%
2020	+29.95%	-8.4%	-24.92%	+34.26%	+9.51%	-3.18%	+24.03%	+2.83%	-7.51%	+27.7%	+42.95%	+44.92%
2019	-8.58%	+11.14%	+7.05%	+34.36%	+52.38%	+26.67%	-6.59%	-4.6%	-13.38%	+10.17%	-17.27%	-5.15%
2018	-25.41%	+0.47%	-32.85%	+33.43%	-18.99%	-14.62%	+20.94%	-9.27%	-5.58%	-3.83%	-36.57%	-5.15%
2017	-0.04%	+23.07%	-9.05%	+32.71%	+52.71%	+10.45%	+17.92%	+65.32%	-7.44%	+47.81%	+53.48%	+38.87%
2016	-14.83%	+20.08%	-5.35%	+7.27%	+18.78%	+27.14%	-7.67%	-7.49%	+6.04%	+14.71%	+5.42%	+30.8%
2015	-33.05%	+18.43%	-4.38%	-3.46%	-3.17%	+15.19%	+8.2%	-18.67%	+2.35%	+33.49%	+19.27%	+13.83%

※coinglass調べ

◆ ドミナンス推移

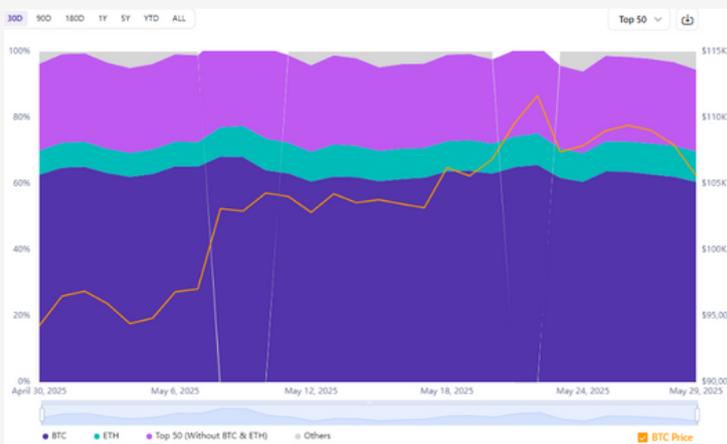
2025年5月1日から5月29日までの仮想通貨市場におけるBTC・ETH・Top 50（BTCとETHを除く）・その他通貨の市場支配率の推移を要約します。

ビットコイン（BTC）の市場支配率は、月初の64.92%から**9日にかけて68.30%（月間最高）に達しましたが**、その後は徐々に低下し、月末には60.64%となりました。

一方、BTCとETHを除くTop 50位のアルトコインの比率は、月初の26.81%から一時28.44%に拡大後、月末には24.74%へと縮小しています。

ETHの市場占有率は月初7.53%から13日に9.73%（月間最高）へ上昇し、月末も9.18%を維持して、前月比でシェアを伸ばしました。また、Top 50位以降の小型アルトは月初0.75%から24日に5.97%へ急伸し、ミーム系やAI系銘柄への短期資金流入が目立っています。

全体としては、BTCへの資金集中が一服し、ETHや小型テーマ銘柄への資金回帰が見られ、投資家のリスク選好が回復し始めている状況と考えられます。



※TokenInsight調べ

日付	BTC市場割合	ETH市場割合	Top 50市場割合 BTC & ETHを除く	その他
2025-5-01	64.92%	7.53%	26.811%	0.75%
2025-5-08	68.30%	8.85%	27.75%	-4.89%
2025-5-09	68.12%	9.42%	28.44%	-5.97%
2025-5-29	60.64%	9.18%	24.74%	5.44%

※TokenInsight調べ

※大幅な変動がある場合、取得データの遅延や不一致がある可能性があります。

TSUDOIポートフォリオ 銘柄の解説

2025年1月より新規コンテンツとしてスタートしたTSUDOIポートフォリオ銘柄については、過去に本分析レポートにてGoodマークを付与した銘柄から選出しております。本コンテンツでは、ポートフォリオに選定、保有し続ける理由についての解説を行っています。

各種注目ポイント(5月末時点)

XRP (フラット)

SEC和解で非証券確定+ETF申請5社、CME先物導入で機関建玉3.4億ドル増、中東ライセンス取得とZand銀提携で送金網拡大○、バーン率3倍・新規ウォレット42万件で実需示唆△、一方、SEC和解で上値余地あるがETF承認までは材料出尽くし感。オンチェーン利用は依然停滞。

Litecoin (フラット)

BitcoinOS連携でハッシュレート過去最高更新◎、LN試験で送金0.01ドルを実証し欧州小売決済も拡大○一方、実需拡大は限定的、ETF延期で資金流入も期待薄。ハッシュレート上昇のみでは弱い。

Dogecoin (フラット)

CoinbaseのcbDOGE対応と欧州1200店での決済導入で実需拡大◎。一方、ETF審査延期と大口売却は悪材料、開発停滞・ミーム依存大で長期上値限定的▲。

Cardano (フラット)

Brave(WEBブラウザ)統合で8600万ユーザーに直結し取引量+17%、Midnight(サイドチェーン)試験稼働とHydra v2.0で高速・プライバシー機能が前進◎。ガバナンスにて予算4.8億ADA確定で研究開発を底上げ◎。一方、Brave統合など好材料も、開発速度と実利用が競合L1に劣後。量子耐性延期で“差別化切り札”も後ずれ。

Hedera (フラット)

RWA特化Convergeテストネットを稼働し、機密契約と100ms決済を検証。Cre8Fans施策で日次アドレス数5倍、SaucerSwapがERC-20対応でDEX支配◎。一方、Convergeは魅力もETF延期で機関資金が滞留せず。供給インフレが止まらない。

Chainlink (上方修正)

CCIPがSolana・opBNBに拡大し3日間で1.2億ドル相当の資産移転を処理、クロスチェーン需要を実証◎。GitHub開発量は業界首位でRWA基盤構築を牽引。規制影響も小さく、6月公開予定のChainlink Runtime Environment (CRE)が開発者エコシステム拡充の鍵となるか注視。

Aave (フラット)

AaveはAptos上V3稼働でEVM外流動性を追加、TVL250億ドル超(Dapps上でトップの数値)。GENIUS法でGHO規制が明確化し機関需要期待、V4開発も順調。取引所残高減とクジラ買いで需給強い。一方、DeFi市場全体の金利動向や規制に関するニュースフローが不安定要素。GHOの採用拡大とペッグ安定性の維持も短期的な課題。

Ondo（上方修正）

JPモルガンとDvP構築・TVL11.85億ドルでRWA首位◎、Solana統合で取引速度短縮○、BlackRock資金流入+先物建玉47%増○と、JPモルガン/BlackRock連携で明確な収益モデルを確立◎。OUSG集中で利回り低下や償還需要が高まる場合は売圧要素▲。Ondo Chain稼働とETF審査が上昇カギ。

Solana（上方修正）

MetaMask統合とステーブル供給130億ドルでTVL76.5億・DEXシェア27.7%拡大◎、Firedancer簡易版で処理速度0.4秒へ短縮○。▲2月障害の信頼低下を引きずりつつ、Base台頭で優位縮小、GENIUS法KYC強化が流動性▲の可能性あり。年末Firedancer本実装が成長ドライバー。

Sui（フラット）

DEX取引量48.4億ドル・TVL21億ドルでAvalanche超え◎、21Shares（欧州最大の暗号資産 ETP 発行会社）連携によるRWA資金流入○。Cetusハッキング2.6億ドル流出と5月アンロック7400万SUIで売圧増▲、規制許可により、KYC強化なら流動性▲。2025年後半はMysticeti実装と監査が信用回復の鍵。

Aerodrome Finance（下方修正）

Baseチェーンで預かり資産の約75%を占め、新しい取引方式により効率が従来の約2.8倍に向上。トークンを長期間預ける参加者が増え、流通量が減って価格が支えられやすくなるなど、体力は強化◎。一方で取引の約4割が値動きの激しいミーム系トークンに偏り、価格が荒れやすい点が懸念。次の大型アップデート（手数料削減や高速取引機能）が遅延▲。

Bittensor（フラット）

Dynamic TAO（dTAO）テストネット 正式稼働で月間サブネット数+50%と開発者基盤を拡大◎。さらにEVM互換レイヤー統合によりTVLが週次+23%と、外部DeFi資本の呼び込みを確認◎。一方、いずれもテストネット段階でメインネット実装の技術・監査コストが見積もり難しく、将来のアンロック供給ショックを孕む▲。

Morpho（フラット）

Polygon連携で 取引量4倍・TVL急増◎。iMORPHOが米国債担保で利回り+4.2%、機関資金呼び込み○。一方、上位3デリゲート投票71%・供給63%集中、量子耐性実装26年へ延期で信頼低下▲。TVLの82%がUSDC系に偏りし利確売り拡大▲。ALM V2（6月予定）はプール毎に金利と資本配分を自動最適化しLP収益ロスを削減、Relay V3はAptosとブリッジしETH圏外の流動性を吸収する計画で成長ドライバー◎。

Ethena（フラット）

USDe供給49.8億ドル・週次+3億で拡大、BlackRock BUIDL担保連携とConverge試験網稼働でRWA強化◎。Q3エアドロップで流動性圧縮を緩和△。一方、GENIUS法や金融庁細則改定で規制コスト増、デリバティブ担保の規制議論が加速。USDe急成長は相場環境依存で縮小リスク大。iUSDe機関版が年内10億ドルAUMを達成できるかが成長の鍵。

Lido DAO（フラット）

stETHリステーク1.2億ドル流入で手数料収益拡大◎。デュアルガバナンス実装でstETH保有者に拒否権付与、TVL安定◎。Chorus One鍵流出を即時修復し信頼維持△。エアドロップで循環圧縮も流動性改善は限定的△。LDO上位10アドレス63%保有で中央集権リスク▲。GENIUS法でKYC強化ならLDO流動性縮小懸念▲。V2完全稼働とEigenLayer報酬拡大が年後半の成長ドライバー。

GOODマーク付き銘柄 2025年 5月集計結果

トップ銘柄 分析ガイド 5/30

一般に、BTCの価格が下がる際には、アルトコインはBTCよりも大きく値下がりすることが多いです。これはアルトコインのリスクが高いことを意味します。しかし、市場が上昇する時には、アルトコインはBTCを上回る値上がりを見せることがあります。このため、BTCが下落している時にアルトコインのパフォーマンスを月単位で評価すると、成績が悪く見えることがあります。

5月1週目~5月4週目までの週次レポートにて選定された9つのTOP銘柄の中から7つのTOP銘柄にGoodマークを付与いたしました。

※この評価は、基本的に毎週金曜日に配信される週次レポート作成時または、月次レポート作成時に、過去に配信された銘柄の価格動向を記録した情報を基に行われます。銘柄の中では、同じ銘柄が含まれていることがあります。

今月はおよそ1カ月を通して、**BTC価格**がおよそ**11.6%上昇**しており、9つのTOP銘柄の選定を行い**7銘柄にGoodマークを付与**しております。結果として3銘柄が**価格高騰**を経験し、**5銘柄がBTC価格の推移よりも高パフォーマンス**を出しています。

TSUDOI分析レポート マーク銘柄一覧

配信日	プロジェクト	上昇率
2025年5月2日	 Solana	24.04% 
2025年5月2日	 Sui	19.11% 
2025年5月16日	 Ethereum	3.71%
2025年5月16日	 Solana	4.28%

配信日	プロジェクト	上昇率
2025年5月16日	 Ondo	2.66%
2025年5月23日	 ChainLink	-1.63% 
2025年5月23日	 Avalanche	-0.59% 
2025年5月23日	 Uniswap	18.75% 

『★』マークは、同時期のBTC価格の増減と比べ高いパフォーマンスを出していた銘柄に付与しています。

GOODマーク付き銘柄 2025年 5月集計結果

『狙い目：中堅・大穴：新規銘柄』 発掘ガイド 5/30

5月1週目～5月4週目までの週次レポートにて、9つの狙い目：中堅銘柄、1つの大穴：新規銘柄を詳細に分析しました。

※この評価は、毎週金曜日に配信される週次レポート作成時、または月次レポート作成時に、過去に配信された銘柄の価格動向を記録した情報を基に行われます。

『狙い目：中堅』に掲載した銘柄9つ、『大穴：新規銘柄』に掲載した1銘柄の中から、TSUDOIチームでは1銘柄、中長期的な成長の可能性があるを持つと判断し『👍』を付与しております。

配信日	プロジェクト	上昇率
2025年5月23日	 Space and Time	—

『★』マークは、同時期のBTC価格の増減と比べ高いパフォーマンスを出していた銘柄に付与しています。

5月週次レポート掲載 TOP銘柄 継続分析ガイド

トップ銘柄 分析ガイド 5/30

この分析ガイドでは、5月の週次レポートにて記載された価格が急上昇したTOP銘柄に焦点を当てています。それぞれの銘柄について、レポート掲載時から月末までの時価総額ランキングの推移や、複数の海外格付けサイトの情報を基にしたTSUDOI独自の評価を紹介しています。これらの通貨は、100点満点での信頼性スコアとして、下記一覧の右側に記載されています。

TSUDOI週次分析レポート掲載銘柄一覧

※2024年9月より評価方法を一部変更しております。

配信日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	直近30日間の 値上がり率	トークン価格 (5/30現在)	スコア (5/26現在)
2025年5月2日	#6→#6	 Solana 👍	Layer1	▲11.81%	¥23,488.28	73.92(-0.68)
2025年5月2日	#11→#11	 Sui 👍	Layer1	▼3.24%	¥492.37	70.61(-0.01)
2025年5月2日	#29→#33	 Aptos	Layer1	▼8.04%	¥711.73	66.00(-0.21)
2025年5月16日	#2→#2	 Ethereum 👍	Layer1	▲44.93%	¥374,486.35	78.94(-2.05)
2025年5月16日	#6→#6	 Solana 👍	Layer1	▲11.81%	¥23,488.28	73.92(-0.68)
2025年5月16日	#35→#35	 Ondo 👍	RWA	▼6.14%	¥125.93	66.61(-0.39)
2025年5月23日	#12→#13	 ChainLink 👍	Oracles	▼0.16%	¥2,109.48	72.32(-1.13)
2025年5月23日	#14→#14	 Avalanche 👍	Layer1	▼0.41%	¥3,135.47	72.79(±0)
2025年5月23日	#30→#29	 Uniswap 👍	DEX	▲22.40%	¥933.71	73.07(+0.09)

月次レポート及び、週次レポートの使い方について

今月の週次レポートにおけるGoodマークが付与されたTOP銘柄にて、これらの銘柄が、**なぜ話題を集めているかを月次及び週次レポートの考察をご覧いただき、投資家の皆様により深く理解するための分析情報として**レポートを配信させていただいております。

トップ銘柄 スコア調査ガイド

スコア調査ガイドでは、海外の様々な格付けサイトから情報を集めて、TOP銘柄を評価しています。これらの格付けサイトは、プロジェクトの進行計画と現状、トークンの経済的側面、プロジェクトチーム、ビジネスパートナーや投資家、エコシステムの成長、トークンの市場パフォーマンス、技術基盤とセキュリティ、全体的な市場での成績、技術の採用状況など、多面的な観点からの情報を提供しています。

TSUDOIのスコアは、これらのサイトから収集した情報を元に、各プロジェクトの全体的な強みとリスクを評価し、100点満点でスコアを付けます。このスコアを前月のデータと比較し、総合的な評価を行っています。**※2024年9月より評価方法を一部変更しております。**

スコアの読み方

トップ銘柄の仮想通貨は、このスコアが安定しており、**4点以上の大きな変動がある場合は、そのプロジェクトの健全性を再評価する指標**として使っていただければと考えています。

5月の時価総額TOP50銘柄の本スコア推移

上記の基準にて5月の調査を行ったところ、今月に入り**+4以上スコアが上昇**、**-4以上のスコア**を落とした銘柄ともにありませんでした。

オンチェーン&オフチェーン分析ガイド

Goodマークが付与されたトップ銘柄の中で、特に特徴的なデータが確認できたものについて、直近1ヶ月間のTVL、ステーキング、Xフォロワーの増減など、さまざまなデータをもとに分析・考察した情報をご提供しています。

Hederaは、直近1週間で発行済み**ステーブルコイン残高が約4割急減**。大口償還や他チェーン移動が重なった可能性はあるが、真因は未判明となります。Ethereumは、同期間、**手数料収入は週+28%、新規アドレスは日次6.4万件へ急伸**。ETF期待やL2経由の取引が追い風。基盤インフラとして資金を吸収しやすい強みが改めて浮き彫りになっています。

5月週次レポート掲載 中堅銘柄 継続分析ガイド

『狙い目：中堅銘柄』 発掘ガイド 5/30

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）の時価総額ランキング50～400位に位置する『狙い目：中堅銘柄』に焦点をあてた情報を提供するものです。週次レポートに記載いたしましたCMCサイト内、検索トレンド中堅銘柄に関する月末時点での経過調査となります。

週次 検索トレンドの経過調査一覧

作成日5/30

配信日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	直近1カ月の トークン価格上昇率
2025年5月2日	#68→#58	 Virtuals Protocol	AI Agent	▲71.39%
2025年5月2日	#92→#100	 Pudgy Penguins	Collectibles & NFTs	▲1.78%
2025年5月2日	#101→#253	 Solayer	Restaking	▼72.56%
2025年5月16日	#67→#58	 Virtuals Protocol	AI Agent	▲71.39%
2025年5月16日	#155→#135	 ether.fi	Restaking	▲120.86%
2025年5月16日	#177→#171	 Frax (prev.FXS)	StablecoinProtocol	▲23.07%
2025年5月23日	#112→#108	 Polyhedra Network	Zero Knowledge	▼6.07%
2025年5月23日	#249→#248	 CoW Protocol	DEX	▲53.07%
2025年5月23日	#257→#278	 Space and Time	Zero Knowledge	▼40.83%

上記『狙い目：中堅銘柄』に関する最新のトークン価格への影響が予想される話題についての調査結果をPick Up!!

Virtuals Protocol : VIRTUL

注目ポイント：5/26 新たなユースケースの創出に期待高まる

大手ゲームスタジオと提携し、AIエージェントをゲーム経済に統合。Base/Solana対応で1万TPS超、ZK強化で検証67%短縮。5月手数料収益は前月比+214%の890万ドル。6月15日に流通量+23%の大型アンロックが控える。ゲーム領域でのユースケースが出てくるようであれば、アイテムの動的プライシングやNPCの自律行動が VIRTUAL ガス支払いで動くため、ゲームプレイそのものがトランザクションを生む。

Ether.fi : ETHFI

注目ポイント：リキッドステーキング規制最前線へ期待と懸念の表裏

リキッド/リステーキングは「預金証書トークン」で資金を動かす仕組み。米SECは鍵を利用者が握り、現状、非カスト型なら証券外と示唆。EUはMiCAで30日返還保証と保管ライセンスを義務化、英国FCAは小口向けに同意確認を要求しコスト増、利回りを圧迫。規制整備が進めば機関資金が潜在的に流入し利回りを支える可能性あり。一方、競合リスクに要注目。

Frax Finance : FRAX

注目ポイント：規制環境に遵守したステーブルコインプロトコルへ昇華する期待

4月下旬に発表されたNorth StarでFRAXをガス兼バートークンに刷新、BlackRock担保で機関資金を取り込みつつ、共同創業者Sam Kazemianが米ステーブルコイン法案(GENIUS)の草案作成に関与した稀有な業界人となる。新法施行と同時に“規制準拠オンチェーン米ドル”として滑り込める先行ポジションを確保する可能性に期待が高まる。

DeepBook Protocol : DEEP(下方修正)

SUI/USDCに流動性が偏りTVL2,235万ドル、Cetusの1/6で競争力低下▲。ハッキング余波で24h-5.2%、監査済でも新攻撃耐性に疑義▲。機関向けPro開始やALM V2/Relay V3計画は好材料◎。TVL・流動性とも Cetus 比で大幅劣後。アグリゲータ非対応で改善見込み薄。

Cetus Protocol : CETUS(ハッキングによる信用リスクあり)

5/22にCLMMの整数オーバーフロー脆弱性を突かれ2.23億ドル流出、CETUSは半値・SUIも14%安とエコシステムに深傷▲。財務資金+Sui財団融資で1.62億ドル補填済み、残額6,100万ドルもユーザー100%返還案を6/5投票に付し信頼回復へ◎。ただ監査体制の欠如とブランド毀損で中長期のTVL流出リスクが残る▲。

有名VCによる 資金調達最新情報分析

『大穴：新規銘柄』 発掘ガイド 5/30

2025年4月25日～5月28日までの期間において、仮想通貨業界における大手ベンチャーキャピタル(VC)の出資実績を詳細に調査し、大穴：新規銘柄を分析します。

今月の主な業界の資金調達プロジェクト数は50社となり、大手VCからの出資を受けたプロジェクトは19社となります。下記は、大手VCから出資を受けた銘柄の中でTSUDOIスタッフが注目する3つのプロジェクトとなります。

※大手VCについては投資資金の大きいTOP20を対象としております。

プロジェクト名	カテゴリー	調達ラウンド	金額	大手VC一覧	融資日	注目度 (3点満点中の評価)
 Catena Labs	AI Agent	シード ラウンド	\$18.00M	Andreessen Horowitz Coinbase Ventures etc...	2025年 5/20	事業モデル ★★☆(2.5) メンバー ★★★(3.0)
 Terminal3	Zero Knowledge, Infrastructure	シード ラウンド	\$8.00M	CMCC Global CONSENSYS MESH etc...	2025年 4/30	事業モデル ★★☆(2.5) メンバー ★★☆☆(2.5)
 Miden	Layer2	シード ラウンド	\$25.00M	Andreessen Horowitz Hack VC etc...	2025年 4/29	事業モデル ★★(2.0) メンバー ★★★(3.0)

5月の資金調達事情について

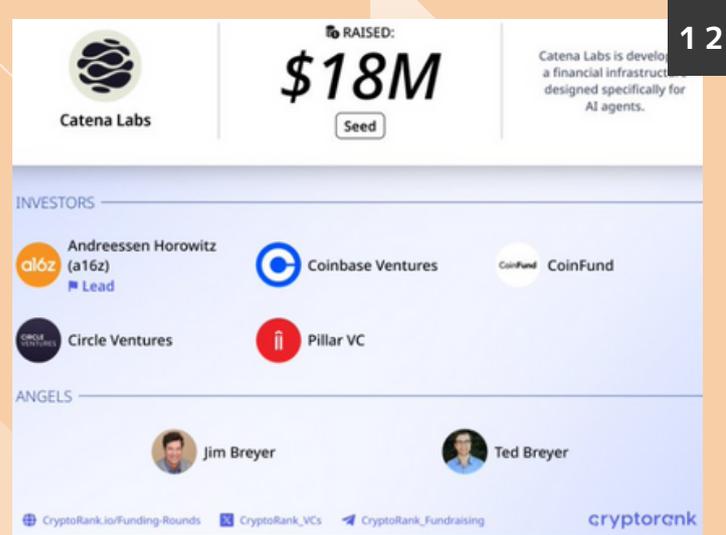
今月のブロックチェーン業界では、資金調達総額が執筆現在2億2,261万ドル（約321.34億円）となりました。全体的な資金調達の推移は落ち着きをみせるものの、各分野への投資のバランスは維持されております。5月時点では縮小傾向にあり、この傾向が続けば将来的な有望スタートアップのリリース数に影響する可能性があるため、推移は要注目です。

5月の投資比率を見ると、Infrastructure（30.6%）がトップで、次にDeFi（28.6%）、Web3（12.2%）、CeFi（10.2%）、Others（12.2%）、NFT（6.1%）と続きます。特にインフラとDeFi分野がほぼ同等の割合を占めており、業界を支える基盤技術と分散型金融への期待の高さを示しています。今後も幅広い分野でさらなるイノベーションが期待されます。

Catena Labs

分野：AI Agent

◆ トークン未発行



01. 概要 AIの金融活動を支える『Catena Labs』

Catena Labsとは、AIが自律的に金融取引を行えるように設計された「AIネイティブな金融機関」を構築するプロジェクトです。現在の金融システムはAIの求める高速性や柔軟性に対応できず、コストや取引スピードに課題があります。Catena Labsはこの問題を解決するため、規制に準拠したAI専用ステーブルコインを活用し、AI特有のリスク管理や本人確認を備えています。また、従来の銀行や決済システムとの橋渡し機能も提供し、人間とAIが協力して安全に金融活動を行える環境を整えています。

02. 運営メンバー

Co-Founder兼CEO：Sean Neville氏、Co-Founder兼CTO：Matt Venables氏、CPO：João Wenzel氏

共同創設者のSean Neville氏とMatt Venables氏は、世界的に成功を収めたステーブルコイン「USDC」を提供するCircle社で、それぞれ約12年弱および約6年弱にわたり構想・構築・スケール化を主導し、数十億ドル規模の金融商品開発や規制対応の実績を持ちます。最高製品責任者（CPO）のJoão Wenzel氏は、NetflixやGoogleなど著名企業で計7年以上の製品リーダー経験を有します。特にGoogleでは約2年半、Google Researchで機械学習を活用した言語学習製品開発を主導したほか、YouTubeでは3年強にわたりYouTube Musicの製品マネジメントとデータ分析を牽引しました。

リサーチ担当のコメント

事業モデル ★★☆(2.5)

Catena Labsは、AI専用の金融取引を可能にする「AIネイティブな金融機関」を構築し、規制に準拠したステーブルコインを用いてAI経済の基盤を提供しています。従来の銀行や決済システムとの橋渡し機能も持ち、AI経済圏拡大という時流にマッチした非常に独自性の高い事業モデルであり、将来性が高く評価できます。

メンバー ★★★(3.0)

共同創設者のSean Neville氏とMatt Venables氏はUSDCの構築・拡大を成功させた実績があり、ブロックチェーン金融の専門性が極めて高いです。João Wenzel氏はNetflixやGoogle、YouTubeでの製品開発経験を持ち、多様で高度なスキルを兼ね備えた、極めて信頼性の高いメンバー構成です。

Terminal3

分野：Zero Knowledge,
Infrastructure

◆トークン未発行

Terminal 3

RAISED: **\$8.0M**
Seed Round

Terminal 3 is a startup building user data infrastructure for a decentralized future.

LED BY: CMCC Global, ILLUMINATE FINANCIAL

PARTICIPATION FROM: animoca BRANDS, Hard Yaka, BlackPine, 500, CONSENSYS MESH, Cherubic

CryptoRank.io/Funding-Rounds, CryptoRank_VCs, CryptoRank_Fundraising, cryptorank

01. 概要 ゼロ知識で高いプライバシー保護を『Terminal3』

Terminal3とは、ユーザーが自らのデータやアイデンティティを完全に所有・管理できるようにするための分散型データ管理インフラを提供するプロジェクトです。現在主流の中央集権型データストレージはユーザーのプライバシーを侵害するだけでなく、企業側にもコンプライアンスやセキュリティの負担を生じさせています。Terminal3は、分散型ストレージとゼロ知識証明を活用することで、安全かつプライベートなデータ活用を可能にし、Web3時代にふさわしい公平で自由なデジタル社会の構築を目指しています。

02. 運営メンバー

Co-Founder兼CEO：Gary Liu氏、Co-Founder兼CPO：Malcolm Ong氏、
Co-Founder兼COO：Joey Liu氏

共同創業者のGary Liu氏は、Spotify Labs責任者やDiggのCEOを経て、South China Morning Post (SCMP) のCEOとして約5年デジタル改革を主導しました。Malcolm Ong氏はSkillshareの共同創業者兼CTO、Lyftの製品担当やSCMPでのSVP Productを歴任し、大規模な製品開発経験があります。Joey Liu氏はMcKinseyで約3年間戦略コンサルタントを務め、Bank of America Merrill Lynchでも投資銀行業務を経験、現在はNFTプロジェクトArtifact Labsの共同創業者としてWeb3領域で活躍しています。

リサーチ担当のコメント

事業モデル ★★(2.0)

Terminal3は、中央集権型サービスが抱えるプライバシーやコンプライアンスの課題を的確に捉え、データ主権をユーザーに取り戻すという明確なビジョンは高評価です。今後は、導入企業や実際の活用事例を増やしていくことが市場での普及・拡大に向けた重要なポイントとなるでしょう。

メンバー ★★★(3.0)

共同創業者のGary Liu氏とMalcolm Ong氏はSpotify、Digg、Lyftなど著名企業で豊富な経営実績を持ち、Joey Liu氏もMcKinseyや投資銀行業務を経験するなど強力なチームです。Web3プロジェクトの経験もあり、事業推進力や専門性を兼ね備えた信頼性の高い経営陣として評価できます。

Miden

分野：Layer2

◆トークン未発行

Miden

LED BY **andreesen.horowitz**

HACK VC 1k(∞)

PARTICIPATION FROM

Symbolic Capital **M1 VENTURES**

P2 Ventures **Finality CAPITAL PARTNERS**

ANGELS

Sreeram Kannan **Rune Christensen** **Avery**

RAISED: **\$25M**
Seed

Miden is a ZK-rollup L2 blockchain built on top of Ethereum enabling private, scalable smart contracts.

[CryptoRank.io/Funding-Rounds](#) [CryptoRank_VCs](#) [CryptoRank_Fundraising](#) **cryptorank**

01. 概要 スケールとプライバシーを両立『Miden』

Midenとは、Ethereumのスケラビリティと安全性を向上させるためにPolygonが提供する、zk-STARKs（ゼロ知識スケラブル透過的知識証明）技術を用いたLayer2スケールアップソリューションです。ブロックチェーンの実行と状態管理をクライアント側（エッジ）に移動させることで、従来のブロックチェーンが抱える拡張性やプライバシー、安全性に関する制限を克服しています。公開取引と非公開取引の両方に対応できることが特徴で、旧来の金融システムの代替を目指す開発者に向けた次世代型ブロックチェーンです。

02. 運営メンバー

Co-Founder：Bobbin Threadbare氏、

Co-Founder：Dominik Schmid氏、Co-Founder：Azeem Khan氏

Midenの主要メンバーは、Meta（旧Facebook）のブロックチェーンチーム出身者が中心となっています。特にリーダーのBobbin Threadbare氏は、MetaのNoviプロジェクトでゼロ知識証明（ZK）の研究を主導し、PolygonでもMidenプロジェクトを率いた、ZK分野の第一人者です。Dominik Schmid氏もMeta出身で約2年2カ月の経験を積み、ブロックチェーン技術に精通しています。また、Azeem Khan氏はGitcoinやMorphでのエコシステム構築や運営経験を持ち、市場展開面で強みを発揮しています。

リサーチ担当のコメント

事業モデル ★★★(3.0)

Midenは、企業導入実績が豊富なPolygonのレイヤー2ソリューションとして、既存金融分野への展開を明確に目指している点が評価できます。特にZK技術を活用し、安全性やプライバシーが重視される金融領域での採用に適しており、今後、具体的な金融機関との導入事例が増えれば、さらに市場での存在感が高まることが期待されます。

メンバー ★★☆(2.5)

リーダーのBobbin Threadbare氏を筆頭にMeta出身の高度なZK技術専門家が揃っており、技術的な信頼性は極めて高いです。一方で、メンバー構成がZK分野に特化しているため、今後は他領域での幅広い経営・事業開発経験を持つ人材を加えることがプロジェクト成長の鍵になるかもしれません。

5月週次レポート掲載 新規銘柄 継続分析ガイド

『大穴：新規銘柄』発掘ガイド 5/30

2025年5月1日から5月30日までの期間において、CMCで新規リストされ、時価総額ランク50位以下の『大穴：新規銘柄』の月末時点での経過調査となります。

CMC新規リスト銘柄

配信日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリ	時価総額	トークン価格 (掲載~5/30比較)
2025年5月16日	#244→#278	 Space and Time	Zero Knowledge	¥21,589,105,269	¥15.42 ▼23.51%

Space and Time : SXT

注目ポイント：ZK証明でクエリ89%高速化、DAO導入とコスト削減が今後の焦点

翌週4週目にも中堅銘柄として選出しており、注目銘柄となります。ZK証明を用いた分散型データウェアハウス「SXT Chain」を、昨年よりテストネットで実績を積み、5/8 メインネット公開へ。EthereumとSuiを跨ぐクエリを89%高速化、Proof of SQLでスマートコントラクトから直接検証可能としたうえ、5/23 Azure連携でAIエージェント対応を進める。Q3予定のDAO導入と報酬設計の改善が開発者参加とデータ需要を左右すると期待感が高まる。

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap : <https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp : <https://www.coincarp.com/>
- Messari : <https://messari.io/>
- TokenInsight : <https://tokeninsight.com/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。

レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト：<https://tsudo-platform.co.jp/>